



解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって事前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

2026. 9月第693号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

使徒ペトロと百人隊長コ
ルネリウスの不思議な選
近。使徒言行録に記された
この何気ない問いが、いつ
までも心に残る。これは単
にペトロの居場所を尋ねた
言葉ではない。この問いは、
私たち一人ひとりにも向け
られているように思う。あ
なたは、どこに泊まっている
のか。聖書において、「泊
まる」ということは、単に
一夜の宿を意味するもので
はない。

ヨハネ福音書の冒頭、洗
礼者ヨハネの二人の弟子は、
イエスに従い「先生、どこ
に泊まっておられるのです
か」(ヨハネ1:38)と尋ね
た。彼らは単に宿の場所を
知りたかったのではなかつ
た。あなたはどこに住み、
どこに命の根を下ろしてお
られるのか、その生き方に
触れたいと願ったのである。
イエスは、「来なさい。そ
うすれば分かる」と答えら
れた。そして彼らはイエス
のもとへ行き、その日、主
のもとに泊まった。ここで
「泊まる」と訳されるギリ
シア語は「メノー」という。
それは「泊まる」という意
味のほかに「とどまる」(留

まる)という意味を持つ言
葉である。ヨハネ福音書で、
この言葉は何度も繰り返さ
れる。葡萄の木と枝のたと
え、「わたしにつながってい
なさい。」は、このメノーで
ある。直訳すれば、「わた
しにとどまりなさい」。信
仰とは、知識を増やすこと
ではない。キリストのもと
にとどまり、その命に生か

瞑想

「ペトロと呼ばれるシモンという方が、ここに
泊まっておられますか」と尋ねた。

(使徒言行録10:18)

主幹牧師 榎本 恵

されることである。

ペトロはヤッファで、皮
なめし職人シモンの家に泊
まっていた。皮なめし職人
は、死んだ動物の皮を扱う
ため、当時のユダヤ社会で
は宗教的に汚れた職業と見
なされ、人々から距離を置
かれていた。しかしペトロ
は、その家に身を置いたの
だ。その出来事は、決して

偶然ではない。ペトロがそ
の家で祈っていた時、神か
ら幻を与えられ、異邦人コ
ルネリウスのもとへ遣わさ
れる。福音が民族や宗教の
壁を越え、世界へ向かって
開かれていく転換点は、ペ
トロが社会の周縁に生きる
人の家にとどまったことか
ら始まったのである。

来たのではない。そこに泊
まったのである。島の風を
感じ、人々の暮らしに触れ、
阿波根さんの声を聞いた。
「人間は前の戦争の後始末
も終わらないうちに、もう
次の戦争の準備をしてお
る。」この一言が、私の人生
を変えた。あれから半世紀
近くが過ぎた今も、その言
葉は私の心にとどまり続け
ている。

振り返れば、人生を変え
る出会い、通り過ぎるだ
けでは生まれない。そこに
泊まり、その土地に身を置
き、その人と時間を共にす
るとき、初めて見えてくる
ものがある。アシュラムと
は、そのような「メノー」
の霊性ではないだろうか。
神の面前にとどまる。み言
葉にとどまる。祈りにとど
まる。そして、苦しみや悲
しみの中にある人々の傍ら
にとどまる。

友よ、主は今も私たちを
招いておられる。どこに泊
まるかは、どのように生き
るかにつながっている。だ
から今日も主は、私たちに
問いかけておられる。「あ
なたは、今、どこに泊まっ
ているのか」と。

第20回国際正義平和

アシュラムの感想 ③

古憶婷

また、2023年に日本の新潟で台湾の美満牧師が語られた「いつも自分のいのちを新しくする」という言葉が、今も心に残っています。私たち自身の生き方が一冊の聖書のよ

一直很深刻在2023年日本新潟台灣美滿牧師所分享的，隨時更新自己的生命，我們所做的就是一本聖經，用信仰行為傳給身邊的每一位人，也要學習做下一代及家人的好榜樣。

這次2025年愛修會的主題經文

「你們要吹響號角，遍及全地，為這五十年獻上聖潔，向全地的居民宣告自由。這乃是禧年。」

(利 25:9-10)

耶穌愛我們每一個人，神的平安也會建立在我們心中，在生活中即便在暴風雨，上帝仍然掌握中，愛修會不只是走過50年，而是要邁向新的50年，如同我們的生命，不只是過去現在，更需要持續的更新，走在耶穌的旨意上，耶穌會陪伴著我們，未來還有愛修會機會，大家可以一同參與，讓耶穌繼續的對我們的生命來說話。

うになり、信仰の歩みを通して周りの人々に伝えていくこと、そして次の世代や家族にとつて良い模範となることを学びました。

今回の2025年アシュラムのテーマ聖句は、「あなたがたは角笛を吹き鳴らし、全地にわたって自由を宣言しなければならぬ。これはあなたがたのためのヨベルの年である。」(レビ記25章9-10節)です。

イエス様は私たち一人ひとりを愛しておられ、神様の平安は私たちの心に与えられます。たとえ人生に嵐があっても、すべては神様の御手の中にあります。

アシュラムは50年で終わるのではなく、新しい50年へと歩み続け

ていきます。それは私たちの人生と同じで、過去や現在だけでなく、これから絶えず新しくされ続けていくものです。

イエス様の御心の中を歩むとき、主はいつも私たちと共にいてくださいます。これから

沖縄巡礼の旅

鯉淵 晃

今回の旅で一番感じた事は、神様はいかに私たち人間を愛してくださるか、ということでした。

妻(博子)の付添いで、車椅子で参加した私の滞在中、沖縄の人たちの私に対する折々の親切に、御礼と感謝を申し上げます。同様に、今回の旅の企画をなさった榎本恵牧師をはじめ、御一族の皆様にも心より感謝致します。

もアシュラムに参加する機会があれば、ぜひ皆さんも一緒に参加し、イエス様が私たちの人生に語り続けてくださることを体験していただけたら嬉しいのです。

(完)

(台湾基督長老教會

文蘭教會)

す。また、参加者のアベルモンさんと和田さんはじめ、同行の皆様との親切なご配慮と手助けには、心から感謝致しております。

旅程の中で最も感動したのは、慰霊祭です。糸洲の陸軍病院第2外科壕のそばに設けられた会場に着くために、急な泥の斜面を手を引かれ背を押され歩きました。そして、わずかな平面まで運び上げて頂いた車椅子に座

り、参列することができました。

こんなところで多くの人たちが死ななければならなかった戦争を思い、涙が耐えませんでした。そんな私を見た人に「遺族の方ですか?」と聞かれました。

司式の任にあたられた榎本恵牧師がおっしゃった「平和って、誰かが小さくなったとしても言い続けなければ



←ご夫婦で慰霊祭に

ばいけない。慰霊ということが、私たちにとっての平和運動だと思っています。」との言葉が胸に沁みました。

沖縄には叔母といとこが東京から移り住んでいます。初めて沖縄を訪ね、その理由がわかりました。私もできれば永住したい気がしました。(たぶん無理でしょうが...) 今回の沖縄巡礼の旅は、まさに天国もかくあるか! と思える時でした。

神様どうも有難うございました。(キリスト友会 土浦月会)



↑沖縄巡礼の旅、糸洲第二外科壕前で沖縄の皆様と慰霊祭。両端に、アシュラム参加者。撮影 鯉淵晃兄。

バストス・アベルモン宣教師より、皆様へ

今年10月で、私が母教会と宣教団体から派遣され、アシュラム・センターとのパートナーシップのもと、宣教師として日本に到着してから、ちょうど3年を迎えます。

この間、私は滋賀県近江八幡市に住み、榎本恵牧師のご指導と温かいサポートを受けながら、宣教活動を続けてまいりました。榎本先生からの励ましと導きのもと、子ども食堂で子どもたちとふれあうとともに、日本基督教団 甲西伝道所において、毎月1回説教をさせていただき、高齢者の皆様に神様の御言葉をお伝えする機会を与えられました。

この3年間、私は日本の言葉と文化を学び続けてきました。まだまだ学ぶべきことは数多くありますが、この一つの節目を迎えることができたのは、ひとえに神様の導きと、アシュラム・センターの皆様からいただいた温かい支えのおかげであると、心より深く感謝しております。

また、日本人の教会やブラジル人の教会をはじめ、地域のさまざまな教会との素晴らしい交わりが与えられたことにも感謝しています。そして何より、日本におけるアシュラム運動50周年という歴史的な節目に立ち会う恵みを与えられたことを、神様に心から感謝いたします。

すべてのことについて、神様に栄光がありますように。皆様のこれまでのご支援とお祈りに、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

これからブラジルへ帰国いたしますが、来年、主イエス・キリストの愛をもって再び日本へ遣わされ、日本の方々に福音を伝え、その一人ひとりに手を差し伸べることができるよう、さらに備えられ、より良い準備を整えて戻って来られるように、お祈りいただければ幸いです。

心からの感謝を込めて。

バストス・アベルモン宣教師
(メトロポリタン・バプテスト教会 サルパドール・ブラジル)



↑アベルモン先生手作り昼食! 修道場庭、畑作り後に。豆のカレー!



↑甲西伝道所(後宮俊夫師初代)にて、月一回の説教ご奉仕。原稿作りや読み方等、春代姉、るつ子姉よりご指導受けて、祈られ、努力重ね、喜ばれるほどに。

第53回 日本アライアンス呉教会アシュラム感謝

ハレルヤ

「主からの恐れはきよく とこしえまでも変わらない。」詩篇 19: 9

呉教会アシュラムの奉仕、ありがとうございました。

ゆり根の話は、何度も思い出し、祈りの大切さと素晴らしさ、祈りの友が与えられていること、主の働き、恵みに感謝いたします。たった一日の教会アシュラムですが、いつもとちがう神様との交わりの中に置かれる恵みがまた来年もありますように。祈。

日本アライアンス呉教会婦人会一同



* * * * *

昨日は、アライアンス呉教会で開催された第53回教会アシュラムにご奉仕させていただきました。一つの教会が、53年という長きにわたり、み言葉に聴き、共に祈るという、このシンプルでありながら最も大切な霊性の営みを、一筋に続けてこられたことに深い敬意を覚えます。時代は移り変わり、人々の関心や教会を取り巻く状況も大きく変化してきました。しかし、その中にあって変わることなく聖書に耳を傾け、祈りを中心に据えて歩み続けてこられた姿は、私たちにとって大きな励ましであり、証しでもあります。

近年は、いくつかの教会においても、教会修養会の一つとしてアシュラムを取り入れてくださる場所が増えてまいりました。それは単なるプログラムの導入ではなく、忙しさの中で失われがちな「主の前に静まる時」の大切さが改めて見直されているからではないかと思います。

「神に仕え、教会に仕え、人に仕える。」

これは私たちアシュラム運動の原点です。まず神のみ言葉に聴き、祈りによって主と交わる。そのところから、教会への奉仕も、人への奉仕も生まれてきます。これからもアシュラム運動が、教派や教会の違いを超えて、それぞれの教会の歩みに寄り添いながら、祈りとみ言葉に生きる信仰を共に育んでいくことができればと願っています。主に感謝。

榎本 恵 (フェイスブックより)



誕生日カード感謝のお便りから

小林 恒雄(新潟)

ハレルヤ!

私は本年83歳になりました視覚障害者です。近年は難聴もあり、補聴器を使用しています。けれども、点字の聖書は読めますし、音声訳の書物も聴くことができます。

榎本保郎先生の「旧・新約一日一章」の音声に出会い、毎日少しずつ聴かせていただき、霊的な励みや戒めを受けています。それが私の信仰生活において、実に嬉しいことでありますので、お便りさせていただきました。

アシュラムセンターの祝福を心よりお祈り申し上げまして、失礼させていただきます。

シメオンの風 12 「ここも神の御国なれば」 市橋 恵子

夏になると、シメオンの庭にある長方形の人工池は生き物たちでにぎやかになります。池の真ん中には、アベルモン宣教師の睡蓮の花が開きます。今年は紅色です。四方に広がる蓮の葉の間をすり抜けるように、あめんぼがすいすいと水面を滑っていきます。水の中に目をやれば、ゲンゴロウが我が物顔で泳ぎ、金魚のベビーちゃんが水中の物陰に隠れる練習をしています。

ゲンゴロウのような水生昆虫がなぜ、この人工池に棲みついてくれるのかと AI に聞いてみたところ、ゲンゴロウは羽をもって夜になると空中を飛び回まわり、水面の光の反射を目印にして住処を見つけるのだそうです。その飛行距離は数百メートルから数キロメートルにも及ぶと。同じようにあめんぼも飛んできたり、時には雨や風で運ばれたり、はたまた歩いてくることもあるのだそう。この小さな生物たちが棲みつく条件は水がきれいであること、農薬などが使われていないことなのだそうです。

たたみ半畳ほどのこの池の中で、目にみえる生き物も、おそらく人の目に見えない生き物まで多種多様ないのちの営みがおこなわれています。この池を見るたびに、「だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』とって思い悩むな。」といわれた主イエスのみ言葉が想起されます。ラビンスウオークをした後にベンチで一休みして、すぐそばにあるこの池をみると、ここも神の御国なればの讃美歌を口ずさみたくくなります。



いえじま 雑記 37 「プール」

最近では毎日のように子どもたちとプールに通っています。プールは家から車で 10 分くらいのところにあって、いつ行っても不思議と人がいません。子どもたちは、子ども用の浅いプールでのびのびと泳ぎます。最初は腕に浮き輪をつけていましたが、そのうち顔をつけられるようになり、長女は息継ぎもできるようになりました。僕はというと、バタ足がダイエットにいいと聞いたので、ひたすらバタ足をしています。ビート板を使っていましたが、ゴーグルを手に入れて泳いでみたら、25 メートルはなんとか泳げるということがわかりました。クロールとか平泳ぎとか、何か立派な名前がついた泳ぎではなく、水中でもがいているだけなのですが。

小さい頃は水泳が嫌でした。強制参加の水泳大会などトラウマ級で、いくら強く足をばたつかせてみても、コンクリートの中を泳いでいるように前に進まなかったのを覚えてます。そんなふうでしたから、今は意外にもプールを楽しめることに驚いたのです。

昨日はそんな気持ちで呑気に泳いでいたら、隣で泳いでいた小学生の女の子から競争しようと申し込まれました。必死で平泳ぎをしましたが、タッチの差で負けてしまいました。

榎本 空（7月9日 朝日新聞にインタビュー記事「伊江島で歴史を書く」掲載されました）

（空 6才）のしりと
り「めだまやき（前
号は？まめ）でした



←7月大阪聖書教室。マ
タイ28章。復活のイエス
の箇所の中に自分も居た
ような深い分かち合いの
ひととき。暑い中のご参
加感謝！



←6月タカサハにアベル門
宣教師の友、タカオさん父
子参加。恵師喜び、ブラジ
ル地方の地図共に語る。

あとがき

台風の季節が巡ってきました。毎月沖縄を訪れる私にとつて、天気予報はいつも気がかりです。加えて、体温を超えるような暑さが続く「地球温暖化」という言葉さえ追いつかない現実が、私たちの前に広がっています。戦争や災害、環境破壊のニュースに触れるたび、この世界のどこが「極めて良かった」のだろうか、と立ち尽くしてしまふことがあります。先日、保育園の先生方と創世記の天地創造を読みながら、「自然」と「天然」の違いについて話しました。自然は人が壊すことも守ることもできません。しかし「天然」は違います。「天の然り」と書くように、人の手の及ばない神の御業そのものです。だから「自然破壊」はあっても、「天然破壊」という言葉はありません。神が「よし」とされた世界は、人間の罪によって曇ることはあっても、その深みまで失われることはないのです。アッシュラムとは、その「天の然り」に静かに耳を澄ます時です。嵐の音の向こうに、小鸟のさえずりがあり、照りつける陽射しの中にも、一輪の花が風に揺れています。神が「見よ、それは極めて良かった」と言われた世界は、今もなお、私たちを包み続けています。そのことに気づく目を、そして感謝する心を、この夏も与えられたいと願っています。（恵）



中止、又はオンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。直前の変更の場合あり！

【主な問い合わせ先】0748-33-4030 アシュラムセンター
【Zoom・インターネット等 問い合わせ先】080-3983-8140

9月の聖書教室など

4(金)	阪神ミニアシュラム(神戸聖愛教会 PM1:00)
5(土)	加古川祈りの家(フリーメソジスト加古川教会 PM1:00)
14(月)	福岡聖書教室(福岡中部教会 PM1:30)
15(火)	大阪聖書教室(大阪クリスチャンセンター AM10:30)
16(水)	みんなのカフェいちろば聖書入門講座(京都・伏見区深草 PM1:30)
18(金)	センター聖書教室(アシュラムセンター AM11:00)
27(日)	ちいろば牧師記念チャペルタ礼拝(PM5:00)
28(月)	静岡聖書教室(旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30)
29(火)	東京聖書教室(御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)
29(火)	しみじみする会(桜美林大学 荊冠堂チャペル PM2:30)
10/2(金)	阪神ミニアシュラム(神戸聖愛教会 PM1:00)

9月のアシュラムなど

11(金) 12(土)	第49回 新潟アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	080-801-1203 日基愛泉伝道所 大島庄吾師
20(日) 21(月)	第57回九州アシュラム (アシュラム連盟主催) 奉仕者 榎本 恵師	090-9481-1947 岡山敦彦師
22(火)	第33回 岐阜アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	0584-22-1576 名和公一兄
24(木) 25(金)	第14回 日光オリーブの里アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
26(土)	第52回 南町田一日アシュラム 奉仕者 榎本 恵師	042-796-1521 森高登志兄、佐々木みどり姉

10月以降のアシュラム予定

10/5(月)	第50回 山陰アシュラム
10/12(月)~14(水)	第51回 加太アシュラム
10/20(火)	第30回 埼玉一日アシュラム
10/31(土)	第7回 水戸バプテスト教会アシュラム
10/31(土)	第23回 愛知一日アシュラム
11/2(月)~4(水)	第51回 京浜アシュラム
11/28(土)	第7回 四国一日アシュラム



←早天Zoom参加始まりの日！病の
内にある池谷兄の祈り、聴かれ。喜び話
しかける和子母。2021年3月20日。

みことば



樋口畑の
大キキウリ

京都大学名誉教授
アシュラムセンター研究員
河崎靖

スタンリー・ジョーンズと
クリスチャンアシュラム運動⑤

ジョーンズは、ある意味、預言者であり、それゆえ、聖書に登場する数々の預言者と同じように、賞賛と同時に嘲笑や敵意を受ける立ち位置にあった。いずれにしても、現代という時代に向けての福音を語る仕事を抜きん出て有能にこなした人物であることに間違いはない。¹ 彼の偉業に敬意を払い設立されたスタンリー・ジョーンズ財団は、イエスが主であると教え、そして、その著作で世界中の何百万人もの人々を祝福したジョーンズの遺産を保存している。この財団の使命は、彼の著作27冊すべてをこの世に広めることであり、彼の書籍が新しい世代に届くようにすることである。

ジョーンズが亡くなってから、ほぼ50年が経った。彼の著書の多くは、1930・40年代に書かれているが、² その教えは全く時代遅れではなく、それこそ現代の世界に通用するものである。もし当時インターネットがあれば、彼はどれほどのことを成し遂げていたであろう。しかも、彼の書籍による収益のすべては、他者のニーズに応える目的で使われた。³ ジョーンズは全財産を寄付し、困っている人々を常に助け続けた。彼はよくこう言っていたそうである。

私は自分の必要を満たすだけのお金が必要で、私の必要が終わるところから別の人のものが始まる。だからそのお金はその人のものになる。⁴

ジョーンズは87歳まで、活発で厳格な生活を送り続けた。彼は6万回以上の説教を行ったと言われており、時には1日に5〜7回も説教をしていた。彼はいつも毎日の運動(腕立て伏せ30回!)もこなしていたが、1971年、日本で154回の説教という2か月の過酷な日々した後、脳卒中を起こしてしまった。数カ月のリハビリの生活を経て、医師の同意のもと、彼はインドへの渡航を希望しました。⁵ 幸い、発話困難を伴いながらも約50回、公の場で説教する能力を取り戻すことができた。信仰と決意によるものである。彼の最後の著書は『神聖なイエス!』であった。

- 1 彼の息子ジェームズ・K・マシューズ司教もこう評している。
- 2 30言語に翻訳され350万部が販売されている。
- 3 ラクナウ(インド)に精神科病院を設立するなどの行為である。
- 4 I need enough money for my needs, and where my needs end, another person's begin - and so that money belongs to them.
- 5 1973年1月にインドで亡くなった。



「早天祈禱会にて誕生者への祈り」どうか、大切に生きていく事ができますように。

イザヤ書38章

早天、Zoom参加開始日の聖書箇所。5年前、池谷治明兄より。(左・写真)

あなたれ神、主は、この広大な世に、
通るあなたれ神、主は、この広大な世に、
旅路を見守られたい。

三一九・七(大)中命記二七 和子